

# ごあいさつ

昭和 54 年、北陸で初めての科学博物館として富山市科学文化センターが開館してから、28 年がたちました。当初から、博物館の 4 つの大きな柱である「展示」「普及教育」「調査研究」「資料収集」の 4 大事業をどれも欠かせない大事なものとしてとり組んでまいりました。多くの事業を行うとともに 40 万点近くの資料を収集してきました。

しかし、当館をめぐる情勢や市民の方々のニーズは多様なものに変化し、この度、大々的なりニューアル工事を行いました。

特に自然科学を扱う博物館は常設展示が非常に大切であり、これを最大限活かすことを考えなくてはならないと思っています。

当館はオープン以来の、展示やさまざま普及活動やサービスをする一方、郷土の資料を収集保管し、調査研究をおこない、資料と情報を蓄積してきました。この間に、多くの市民の方々、専門家の方々、いろいろな機関に支えられてきたものです。ここに厚く御礼申し上げます。

そしてこの度の「常設展示」の完成によって、それらに加え、「展示」というきわめて重要な教育資源が整備され、これを機に富山市科学博物館として生まれ変わることになりました。

この展示では、今までの道のりを振り返り、より良く活用いただきたいという願いを込めて、開催いたします。